

「公立保育所のあり方」に関する  
アンケート調査結果（追加実施分）

令和 3 年 7 月

# 「公立保育所のあり方」に関するアンケート調査結果

## 1 調査概要

### (1) 目的

ワーキングチームにおいて、在宅で子育てを行っている家庭の声を聞いた方がよいのではないかと  
との意見があったことから、川越市社会福祉審議会児童福祉専門分科会において議論を深めるため、  
在宅で子育てを行っている家庭に対し、アンケート調査を追加で実施した。

### (2) 調査概要

#### ① 調査内容

- ・ 出生数の減少や就学前児童数の減少に伴う公立保育所の方向性に関する考えについて
- ・ 今後の公立保育所の役割に関する考えについて
- ・ 公立保育所の役割として、求めることや期待することについて

#### ② 調査対象者

在宅で子育てを行っている家庭

#### ③ 実施方法

ウェスタ川越つどいの広場の参加者、たまごサロンなどの子育てサロン参加者等に対して調査  
票を配布しアンケートを実施した。

#### ④ 調査期間

令和3年7月7日（水）～令和3年7月14日（水）

### (3) 回答者数

60人

## 2 集計結果

### 1. 今後の公立保育所の定員及び施設数について

#### 1 公立保育所の定員の見直しや施設数について

設問：今後も引き続き安定して保育を提供していくためには、市全体の保育定員を調整するため、公立保育所の定員の見直しや施設数に関して統廃合などを含めた検討を行うことが必要と考えています。このことについてどのように考えますか。（最もあてはまるもの1つを選択）

上記の設問に対し、在宅で子育てを行っている保護者の回答では、「1 そうすることが必要である」、「2 どちらかというところが必要である」と回答した割合は、76.7%となっており、「3 どちらかというところする必要はない」、「4 そうする必要はない」の13.4%と比較して、高い割合となっている。また、保育所等を利用する保護者の回答と概ね同様の傾向となっている。

(回答数：件、回答率：%)

項目	在宅保護者		【参考】保育所等保護者	
	回答数	回答率	回答数	回答率
1 そうすることが必要である	21	35.0	132	31.6
2 どちらかというところが必要である	25	41.7	149	35.6
3 どちらかというところする必要はない	4	6.7	44	10.5
4 そうする必要はない	4	6.7	30	7.2
5 どちらともいえない、わからない	6	10.0	63	15.1
合計	60	100.0	418	100.0

## 2 統廃合や複合化などについて、メリットや期待すること、デメリットや不安なこと

### (1) メリットや期待すること（あてはまるものすべて）

保護者の回答では、「2 保育環境の整備が進み、子どもたちの保育環境が改善される」と回答した割合が最も多く、保育所等を利用する保護者の回答と概ね同様の傾向となっている。

（回答数：件、回答率：％）

項目	在宅保護者		【参考】保育所等保護者	
	回答数	回答率	回答数	回答率
1 定員に見合った子どもの数が維持されることで、保育所に活気が出てくる	26	28.0	159	25.3
2 保育環境の整備が進み、子どもたちの保育環境が改善される	41	44.1	307	48.8
3 統廃合等によって市の財源が確保されることで、安定的な保育所運営が期待できる	25	26.9	139	22.1
4 その他	1	1.1	24	3.8
<b>合計</b>	<b>93</b>	<b>100.0</b>	<b>629</b>	<b>100.0</b>

#### ■ 「4 その他」の内容

- ・複合施設ができることで、異世代との交流ができることなどを期待する。

### (2) デメリットや不安なこと（あてはまるものすべて）

回答は、「2 通園する保育所が遠くなる可能性がある」が最も多い。保育所等を利用する保護者の回答と比較すると、「1 地域の保育の質が確保されるか不安である」の回答率が高く、「4 在園途中に環境が変化することが不安である」の回答率が低くなっている。

（回答数：件、回答率：％）

項目	在宅保護者		【参考】保育所等保護者	
	回答数	回答率	回答数	回答率
1 地域の保育の質が確保されるか不安である	33	27.0	173	18.1
2 通園する保育所が遠くなる可能性がある	41	33.6	300	31.4
3 通いなれた園に通い続けられるか不安である	32	26.2	221	23.1
4 在園途中に環境が変化することが不安である	15	12.3	229	24.0
5 その他	1	0.8	33	3.5
<b>合計</b>	<b>122</b>	<b>100.0</b>	<b>956</b>	<b>100.0</b>

#### ■ 「5 その他」の内容

- ・人数が多すぎて、小学校規模くらいになるのはどうなのか。1人1人に目を向けて大事にしてほしい。

## 2. 今後の公立保育所の役割について

### 1 今後の公立保育所の役割について

地域の基幹となる公立保育所を一定数維持した上で、今後の公立保育所の役割を以下の①～③のとおり位置づけたいと考えます。

**①地域の保育所**

在宅で子育てする家庭を含め、保育や子どもに関する身近な相談の場など、地域の子育て支援拠点としての役割

**②保育の質の向上を図る中心的な保育所**

公立保育所の様々な経験を生かして地域の保育の質の確保につなげていくことや保育士の共同研修の実施により保育士の育成に努めるなど、保育の質の確保・向上に関する役割

**③誰もが安心して預けることができる保育所**

配慮が必要な児童の受け入れ体制を確保するなど、関係機関と連携し、困難を抱える家庭へも保育が行き届くよう提供する役割

上記の役割について、どのように考えるかという質問において、「1 そう思う」、「2 どちらかというと思う」と回答した割合は、96.6%となっており、「3 どちらかというと思わない」の1.7%と比較して、高い割合となっており、保育所等を利用する保護者の回答と比較して高い割合となっている。

(回答数：件、回答率：%)

項目	在宅保護者		【参考】保育所等保護者	
	回答数	回答率	回答数	回答率
1 そう思う	38	63.3	232	55.5
2 どちらかというと思う	20	33.3	146	34.9
3 どちらかというと思わない	1	1.7	13	3.1
4 そうは思わない	0	-	4	1.0
5 どちらともいえない、わからない	1	1.7	23	5.5
<b>合計</b>	<b>60</b>	<b>100.0</b>	<b>418</b>	<b>100.0</b>

### 2 今後の公立保育所の役割で特に重要と思うのはどれか

回答は、「③ 誰もが安心して預けることができる保育所」が55.0%と最も多くなっており、保育所等を利用する保護者の回答と共通して最も高い結果となった。

一方で、在宅で子育てを行っている保護者の回答では、「① 地域の保育所」の割合が2番目に高い結果であり、アンケート結果から地域において在宅で子育てを行う保護者を含めた支援を行うことが役割として求められているものと考えられる。

(回答数：件、回答率：%)

項目	在宅保護者		【参考】保育所等保護者	
	回答数	回答率	回答数	回答率
① 地域の保育所	16	26.7	87	20.8
② 保育の質の向上を図る中心的な保育所	11	18.3	98	23.4
③ 誰もが安心して預けることができる保育所	33	55.0	233	55.7
<b>合計</b>	<b>60</b>	<b>100.0</b>	<b>418</b>	<b>100.0</b>

### 3. 公立保育所に求められる役割として求めることや期待すること（自由意見）

「2. 今後の公立保育所の役割について」で回答いただいた内容のほか、公立保育所に求められる役割として、求めることや期待することについて、自由記述によりいただいた回答の一部を以下の通り取りまとめた。

#### ■回答者

24人/60人（40.0%）

主なご意見（一部抜粋・要約）
・安心して子育ての相談ができる場であり、安心して預けられる環境の維持、保育の質の確保や向上を続けてほしい。親も子ども安心して遊んだり過ごしたりできる場作りを今後とも維持して行ってほしい。
・経済的に働かざるをえない家庭にとにかく手を差し伸べて、安心して預けられる場が公立の必要性だと思います。子育てを安心してできる街…そんな川越であって欲しいです。
・保育士の待遇改善は個人の働くモチベーションだけでなく保育全体の活性化、子どもたちが心身ともに健やかに成長できる保育につながると思うので、公立保育所が改善に向けてリードしてほしい。
・公立であれ私立であれ、働くママが利用しやすい環境を整えていただきたい。夫や祖父祖母などに協力が得られない家庭もある。女性が社会に出るためには保育環境がまだまだ不十分であると思う。仕事が休みの日、家族の誰かが家にいる日は預けられない。働くママが心配やストレスを抱えてしまうこともある。
・公立でも、私立と変わらない教育や安全性の確保。
・ご存知の通り子育ては人それぞれで、孤立しやすい。保育園は働いている家庭のサポートというイメージだが家庭保育している人でも気軽に子供の面倒を見てもらえるような場所がもっとたくさんあってもいいのではないかな。料金が多少高くても利用したいと思う人はたくさんいると思う。子どもを産み育てることがどうしてこんなにもしんどいのでしょうか。もう少し子育てしやすい世の中になって欲しい。
・私立は保護者が負担するお金が多いのではないかな？遠足代、絵具代、卒業製作代など保育料とは別で支払った。公立は保育料以外の支払いが無いとしたら親にとってメリットです。また、公立は地域に何十年と根を下ろしているから、存在するだけで安心感があります。
・統廃合する場合、家から遠くなる可能性もあるため、幼稚園のようにバスがあると便利だと思います。
・気軽に預けられる場所が増えることを期待します。
・家から近い園が多い方がよい。
・安心して預けることが第一に望みます。親の復職のタイミングもあるので、その時には入れるという待機児童0になってもらえるとうれしいです。
・定員数だけでなく、保育の質や地域でのあり方をもっと大事にしてほしい。